

「地域連携教育」に係る推進指標の達成状況について

「山口県教育振興基本計画」に記載の推進指標について、令和5年度の達成状況をお知らせします。

指標名	策定時の値 (令和4年度)	実績値 (令和5年度末)	成果及び課題(成果○、課題●)	目標値 (令和9年度)
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合(公立小・中学校)	小 54.4% 中 46.4%	小 61.3% 中 47.3%	○ 小・中学校ともに増加しており、児童生徒の地域・社会に目を向けていこうという意識の高まりがうかがえる。 ● 中学校の増加の割合が低い。地域と連携・協働した活動に参画したことによる、自己の意識の変化に目を向けさせる必要がある。	小 70.0% 中 70.0%
学校運営協議会等において、児童生徒を交えて協議を行うとともに、児童生徒の意見や思いを反映させて、「学校・地域連携カリキュラム」の見直し等を行った学校の割合(公立小・中学校)	小 27.8% 中 51.8%	集 計 中		小 100% 中 100%
学校・家庭・地域が連携して、子どもと地域の大人の協働的な学習活動を計画的・組織的に実施している学校の割合(公立小・中・高・特別支援学校等)	0.6%	19.9%	○ 各地域に設置した「サポートチーム」が機能し始め、全県的なコーディネート体制が整いつつある。 ● 高校等に配置した「CSサポーター」の活躍の場をさらに拡充することが必要である。 ○ 当初の計画通り、県立高校等48校のうち19校の「総合的な探究の時間」において、社会と連携・協働した取組を実施しカリキュラムマップを整理したことで、学校と社会との計画的・組織的な学習活動の充実につながった。 ○ 総合支援学校では、幅広い世代との交流がより体験的な学習の充実につながった。 ○ 県内7つの中学校区で子どもが主体となって、子どもも大人も学び合う活動を実施した。その波及効果により、その他の学校区においても地域力が高まった。この取組を全県に発信し、好事例として横展開する。 ○ 「地域連携教育再加速フォーラム」に、小・中・高の児童生徒や地域住民を含む800人超が参加し、子どもと大人が一緒に行う熟議等を通して参加者のつながりが深まった。	80.0%
地域協育ネットコーディネーター養成講座修了者数(累計)	541人	594人	○ 修了者数は堅調に増加している。引き続き市町教育委員会と協力しながら、地域住民へ受講の呼びかけを行う。	800人

(参考)

「山口県教育振興基本計画」
 (4)学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/uploaded/attachment/167664.pdf>



山口県の地域連携教育
 (地域連携教育推進課ホームページ)
<https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/soshiki/183/26646.html>

